

総合的な学習の時間における情報活用の実践力の育成

八基小学校（実践者）渡辺美谷子 栗原 完
（報告者）新井佳芽雄

1 単元名 「さがそう！ 学ぼう！ 八基名人」 第3学年 （総合的な学習の時間）

2 単元の目標

八基地区のいろいろな特技をもった人々を自分たちの調査でさがしあて、ステキな八基名人とする。そして、弟子入りしたい名人を自ら選び、グループで計画を立て名人から技を学ぶ。この活動の様子をカメラで撮影し、新聞や冊子にまとめたり、身につけた技を友達や親に披露したりして自分たちの活動を発信する。このような体験を通して、名人との交流を図り、あいさつ、打ち合わせ、インタビューやお礼等を行うことで人とのコミュニケーション能力を高める。また、技の習得をするとともに、名人の生き方や考え方に触れ、自分の生き方を高めようとする態度を育成する。さらに、一連の活動を通して、情報活用の実践力を育成していく。

3 単元の指導計画（19時間）

過程	学 習 活 動	教 師 の 支 援
や っ て み る	・地域の方数名の技を見たり、話を聞いたりする。 ・名人のステキなところを話し合う。	○身近なところにステキな名人がいることに気づくように出会いを工夫する。 ○どうしてステキなのか、ステキにたどり着くまでには、今までのがんばりがあったからこそ今、名人になったことに気づくように助言し、学習テーマをつかませる。
つ か む	学習テーマ さがそう！学ぼう！ 八基名人 ・八基には、他にどんな名人がいるか考え、話し合う。	○名人のイメージがふくらむように、写真や作品などの具体物を提示する。 ○取材する方法、内容について個々やグループごとに確認し、必要に応じて助言する。
も と め る	・活動計画に沿って「八基名人」をさがす。 アンケート調査 聞き取り調査 ・名人に弟子入りし、実際に話を聞いたり、技を見せていただいたり、体験したりする。 ・中間報告書を書き、中間発表をする。 ・「八基名人」を紹介する方法を考え、グループごとに準備する。	○目的にあったアンケートの内容になるように助言する。 ○友達や家族、地域の人への聞き取り調査の仕方を助言する。 ○マナーやエチケット等を考慮した取材の仕方を指導し、正しいコミュニケーションの取り方を身につけさせる。 ○取材してきたことを冊子にまとめさせることにより、自分の活動をふりかえさせるとともに、人に発信しやすくなるようにする。 ○名人の良さが伝わるように、取材したことのまとめ方や伝え方を指導し、意欲化を図る。
と も に 学 ぶ	・取材してきた、写真や記事を整理してまとめ、コンピュータを使って新聞づくりをする。 ・「くすのきまつり」や次の単元「思いを残し伝えよう」で親や他学年の前で発表する。	○コンピュータ操作を指導し、画像の挿入、フォントの変更、作画の仕方、レイアウトの仕方、印刷の仕方、保存の仕方等が自力でできるように支援する。 ○人前で堂々と表現できるように、助言していく。

4 情報機器活用の意図・情報教育の視点

本校の情報教育の目標の一つに、情報活用の実践力の育成を掲げている。主体的に必要な情報を収集、判断、表現、処理、発信できる児童を目指している。総合的な学習の時間では、自分の課題解決のために、見学、アンケート調査、聞き取り、図書資料、コンピュータ等の情報手段を活用して、資料を収集し、取捨選択し、適切な伝達手段を使って自分なりの考えをまとめて発信することによって情報活用の実践力を育成する。

3年生では、この「八基名人」の学習を通して、インタビュー、メモ、写真撮影等による情報の収集、中間発表のための発表シナリオとしての冊子づくり、みんなに知らせるための新聞づくり、自分の身に付けてきた技の発表等を行うことにより情報活用の実践力の育成を図った。コンピュータリテラシーについては、文字入力、作画、画像の挿入、保存、印刷等の仕方を指導する。

5 実践の概要

発表に向けての練習風景



【しの笛名人】

【腹話術名人】

【エアロビ名人】

【つり名人】



【腹話術名人の冊子】



【ものづくり名人の原稿づくり】



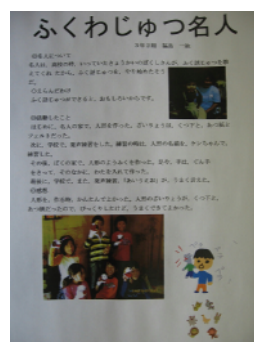
【手品名人の冊子】



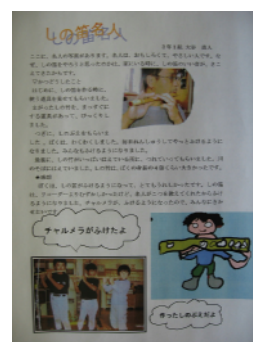
【ぬい物名人の作画】



【腹話術名人の発表会】



【腹話術名人新聞】



【しの笛名人新聞】

5 成果と課題

口コミなどで八基地区の名人を自分たちでさがし当て、取材し、名人に弟子入りして学ぶという活動は、児童にとってステキな人との出会いであり、名人との交流を通して名人の生き方や考え方を学んだようである。また、この学習の中で、デジタルカメラ、コンピュータ等の情報機器の使い方を学び、情報を収集、選択、表現するという情報活用の実践力を身につけることができたようだ。